

兵庫県災害医療センター 看護部

兵庫県災害医療センターは 2003 年、阪神淡路大震災の教訓をもとに自治体で初めて設立された 30 床の独立型高度救命救急センターです。病院の理念のもと平時は高度救命救急センターとして救急医療に携わるとともに静穏期は災害教育を行っています。一方災害時は国内外を問わず災害派遣を積極的に行うとともに兵庫県の基幹災害拠点病院として兵庫県の災害拠点病院の中心となり活動しています。

平時の具体的活動としては院内では年 2 回の防災防火訓練の開催に加えて、看護部防災委員会が中心となり、患者避難誘導の机上シミュレーション研修や災害時増床研修などの活動を行っています。また院外に向けての活動では DMAT 隊員養成研修を年に 9 回実施し、年間 500 名ほどの隊員を養成しています。

災害時は国内外を問わず発災直後から災害現場へ国内では DMAT チームや救護班として 2003 年より約 10 回、国外では主に 12 か国に JDR の医療メンバーとして派遣し活動を行いました。

また院内にある兵庫県災害救急医療情報指令センターでは災害救急医療情報システムを活用し、情報通信ネットワークの「要」として機能し防災関係機関や他府県と連携し兵庫県下の医療班の派遣や情報共有、調整を行います。

このように災害時、平時を問わず災害医療・看護に貢献できるようスタッフ全員で協力しています。

災害対策本部



DMAT 研修風景



HEMC DMAT CREW

